



誰も経験したことのない1学期でした

校長 西岡 克敏

6月から学校再開となり分散登校が始まり、15日からは通常授業の実施。6月29日からは2年生以上の学年で週当たり1時間ずつの学習時間の増加となりました。しかし、2日間の臨時休業や2日間の学年休業が入り、7月に入ってからは、長雨や暑さも伴い、児童の気持ちが落ち着かない日々でした。学習では、教職員は4月5月の遅れを取り戻すだけでなく、前年度の学習の残しを授業の中で指導していく工夫を施しながら授業を構成し、学習指導に取り組みました。児童の学習の様子は折に触れてホームページで紹介しましたが、児童は、先生の話をしっかりと聞き学習に取り組めていました。ただし、全教科ができたわけではなく、本年度の1学期の評価は、1年2年生が「国語・算数・生活・特別の教科道徳」3年生から6年生は「国語・社会・算数・理科・特別の教科道徳」となります。これは、学習指導の重点を今回評価する教科において、全教科を評価するには、資料が少ないといったことがあるためです。1学期に評価をしなかった教科については、2学期に合わせて評価することにしています。ご理解賜りますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症には本当に児童、保護者の皆様にご心配をおかけしました。学校では、児童に石鹼での手洗いを指導し、児童下校後は教職員がそれぞれの持ち場で時間をかけて消毒作業をしています。「新しい生活様式」が唱えられ、これまで当たり前だった生活を変えていかなければならぬ不便さがあります。しかし、自分の、家族の、仲間の命を守るために、「新しい生活様式」や「新しい学校生活」を取り入れなければなりません。児童のマスク着用、児童の体温検査の記録等、本当に保護者の皆様の協力に感謝しています。学校と家庭との両輪で児童の成長をはぐくみ見守ることはよく言われることですが、今回は両輪で大切な命を守ることを改めて思います。これからも、たくさんのご不便をおかけしますが、何卒、ご協力のほどよろしくお願いします。最後に、短い夏休みですが、児童にとって思い出に残る夏休みであってほしいとともに、8月25日の2学期始業式で、全員の児童とあいさつを交わしたいと思います。

1学期間ありがとうございました。